

科目名	こどもの保健（講義）Ⅱ		担当教員	有馬 祐子		
			担当形態	単独		
テキスト	「子どもの保健Ⅰ」ななみ書房 「子育てハッピーアドバイス知ってよかった小児科の巻」1万年堂出版 「あたりまえだけどとても大切なこと」草思社	単位数 授業形態	2単位	講義	開講時期	後期
講義概要 ■到達目標 ・ こどもの環境（生活環境・人的環境）と心の健康、精神保健とその課題について理解し、説明できる。 ・ 保育現場における環境整備及び衛生管理、安全管理の意義とその方法について学習し、日常生活と実習時間に習得知識を活用できる。 ・ 母子保健対策及び様々な専門機関との連携について学習し、その意義を理解し、説明できる。 ・ こどもに対応する保育者の健康管理の必要性を理解し、自分自身の生活に知識を活用できる。健康状態の観察と把握について理解し説明できる。 ■授業の概要 「こどもの保健（講義）Ⅰ」での学習をもとに、この授業ではこどもの健康管理についての知識を考察していく。こどもが、ただ守られている存在ではなく、自立に向けて成長するとはどういうことか考察していく。また、個性ある対象を支える専門職の一つである保育者が自分自身の心身の健康管理に配慮して行動する大切さを学習する。ディスカッション、発表も取り入れ、学習を深めていく。 ■授業計画 第1回 保育者の健康管理 第2回 こどもの主な病気① 第3回 こどもの主な病気② 第4回 こどもを取り巻く環境① 第5回 こどもを取り巻く環境② 第6回 こどもの精神保健① 第7回 こどもの精神保健② 第8回 こどもの精神保健③ 第9回 ADHDのこどもの対応 第10回 保育現場の環境整備と衛生管理 第11回 こどもの事故防止と安全対策 第12回 こどもの睡眠 第13回 職員間の連携と組織的取り組み 第14回 主な母子保健対策 第15回 まとめ ■準備学習 ・ 授業時に与えられた課題は、次回授業時まで必ず内容を把握すること。 ・ 授業の記録は、時々点検する予定なので、提出できるノートを用意し、記録の整理をしておくこと。 ■評価方法 ・ 授業での取り組み（ディスカッションへの積極的な取り組み、発言内容） — 20% ・ 授業でのワークシート — 30% ・ レポート — 50% 未提出の課題がある場合は単位を認定しない。						
参考文献	授業中に適宜示す。	特記事項	・ 授業時には必要なものを整頓し、片づけるべき道具はしまうこと。 ・ A4サイズのレポート用紙を準備すること。 ・ 課題の提出においては、書式、提出期日を守ること。 ・ 単位を修得出来ない場合、「こどもの保健（演習）」は履修出来ません。			
卒業・免許状・資格との関連	保育士資格必修	幼保	保育の対象の理解に関する科目			